

予算特別委員会 Q & A

地域防災対策推進事業について

Q 水害ハザードマップを更新する理由は。

A 中央公民館の解体に伴う避難場所の変更や気象庁による防災気象情報が見直されるためです。

Q 職員で防災士の資格を有している人数は。

A 町内在住者が7名、町外在住者が5名の計12名です。



Q 公共交通における新たなAIオンデマンド運行への挑戦とは。

A 公共交通会議やコミュニティ交通運営協議会を通じて、現在のごかりん号の朝晩ルートに加え、日中の運行についてはオンデマンドタクシーも含めて検討していきます。

Q 川妻浄水場にある配水池の劣化や腐食等は問題ないのか。

A 川妻浄水場には2つの配水池がありますが、どちらも漏水や腐食等は問題ありません。



ふるさと応援寄附金事業について

Q 中間管理事業者の委託先は。

A 現在、契約をしている未来創造株式会社になります。ごかみらいLabと地域事業者を含む3者が連携をし、返礼品のPRや広告宣伝等を行い、さらなる寄附金の増額につなげていきます。

Q 地域事業者は個人でも問題ないのか。

A 返礼品の配送や梱包等の作業が対応可能であれば、個人でも問題ありません。

Q どの年代からの寄附が多いのか。

A 20代から80代まで幅広い年代の方から寄附をいただいております、その半数が40代、50代の方になります。

後期高齢者医療事務事業について

Q 国民健康保険と後期高齢者医療保険の被保険者では人間ドックを受診できる医療機関は異なるのか。

A 後期高齢者医療保険の方は、茨城西南医療センター病院、古河日本赤十字病院、済生会加須病院で受診できます。国民健康保険の方は、そのほかに友愛記念病院と古河総合病院でも受診することができます。

Q 75歳以上の後期高齢者は何人を見込んでいるのか。

A 昨年より94人多い、1,577人となる見込みです。

